

ウォータージェット工法

ウォータージェット工法は、超高压ポンプ(150MPa以上)で加圧した水を高速の水噴流として噴出させ、コンクリート面等の下地処理やはつりを行う技術です。下地処理にウォータージェット工法を行うことにより、脆弱層の除去が確実に処理でき躯体コンクリートと補修材料を確実に一体化することが可能です。



特長

1 確実な劣化部・脆弱部の除去

適切な圧力と流量を設定することにより、既設鉄筋を傷めずにコンクリートの劣化部や脆弱部を除去することが可能です。

2 ブレーカ等より振動が少ない

ブレーカ、削岩機などの打撃破壊とは異なり、高压水のエネルギーにより、コンクリート面を破壊するので振動が少なくなります。また、コンクリート面に与える変形、残留物が少なく、マイクロクラックもほとんど発生しません。

3 付着性

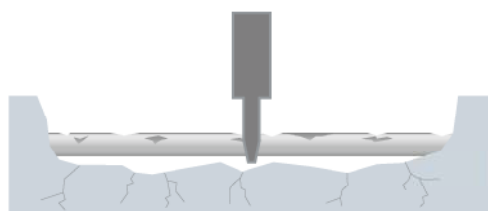
ウォータージェットによる下地処理を行うことにより、既設コンクリート表面の脆弱層を選択的かつ完全に除去するため、付着性が高まり長寿命化が図れます。

4 塗膜や付着物の除去が可能

圧力の調整により、塗膜や付着物だけを除去する「洗浄処理」も可能です。

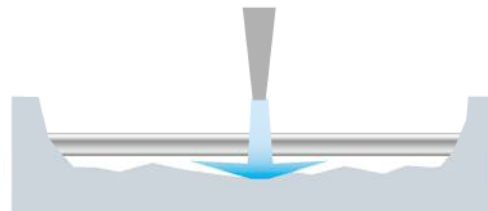
従来工法とWJ工法の比較

従来工法



- 1.コンクリート健全部にマイクロクラックが入る
- 2.鉄筋を傷つける
- 3.ノミ先の当たり方によりはつきり残しが生じる
- 4.はつきり面にコンクリート切粉が付着する

WJ工法



- 1.健全に影響がない
- 2.鉄筋を傷つけない
- 3.確実に劣化部・脆弱部を除去する
- 4.施工面は洗浄された状態となる



施工例






ハンドガンによる表面処理



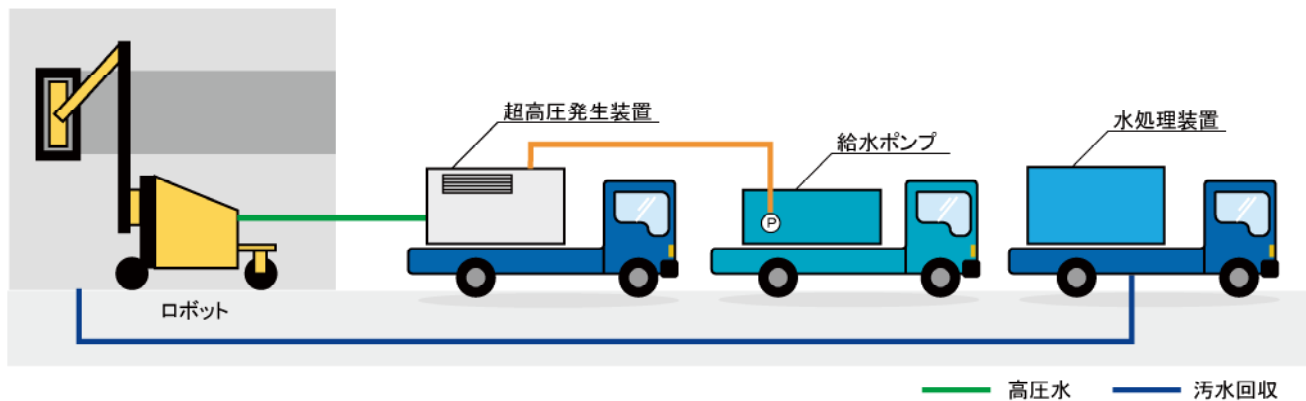
ロボットによるはつり

性能比較

■ 表面処理後の付着試験の一例 ■

工法	ディスクサンダー	高圧洗浄	ウォータージェット
試験後状況			
脆弱層の除去程度	脆弱層が残っており、一体化が難しい	脆弱層が残っており、一体化が難しい	脆弱層が除去されており、一体化が可能
破壊箇所	界面破壊	界面破壊	母材破壊

配置図



株式会社デーロス・ジャパン

本 社 〒921-8005 石川県金沢市間明町2丁目70番地
 TEL (076) 229-7260 FAX (076) 229-7261

仙台営業所 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央1丁目39-3 シティハイブツサ/104
 TEL (022) 346-7184 FAX (022) 346-7185

名古屋営業所 〒457-0055 愛知県名古屋南区星宮町55番地
 TEL (052) 485-5212 FAX (052) 485-5213

新潟営業所 〒950-0925 新潟県新潟市中央区弁天橋通1丁目8番23号
 TEL (025) 287-7312 FAX (025) 287-7580

富山営業所 〒939-8213 富山県富山市黒瀬188
 TEL (076) 423-1335

敦賀営業所 〒914-0028 福井県敦賀市中80-1-15
 TEL (0770) 47-6370 FAX (0770) 47-6371

岡山営業所 〒701-1152 岡山県岡山市北区津高651-2 ソラナ津高202
 TEL (086) 239-8502 FAX (086) 239-8133

福岡営業所 〒811-1347 福岡県福岡市南区野多目6丁目3-4 第七池松サビル303
 TEL (092) 408-7683 FAX (092) 408-7685

【取扱店】